

## 確認テスト

所属\_\_\_\_\_

氏名\_\_\_\_\_

ここまで知っておきたい！ 認知症ケアの応用問題  
～認知症の人の食事・入浴・排泄ケア～

1) 認知症の人に食事介助をする際の留意点を挙げてください。

- ①椅子に座った時に確認することは？
- ②介助者の視線は？
- ③一口量は？
- ④二口目、三口目を口に運ぶタイミングは？

2) 座位の取れない人にベッド上で食事介助を行う場合、ベッドのギャッジアップの角度はどれくらいにすればよいでしょうか？

3) 認知症の人の入浴介助をする際の留意点を挙げてください。

- ①浴室や脱衣所の室温は？
- ②入浴前にはバイタルサインのチェックと？
- ③利用者にシャワーをかける際の注意点は？
- ④浴槽につかる際に特に事故の可能性が高いのは？
- ⑤入浴後の脱水防止のために？

4) 認知症の人の排泄介助をする際の留意点を挙げてください。

- ①トイレ誘導の声掛けの際に気をつける点は？
- ②安全なトイレ環境とは？
- ③何をどこまでサポートすれば？
- ④失禁してしまったときはどのように声をかければ？

## 解答

1) 認知症の人に食事介助をする際の留意点を挙げてください。

①椅子に座った時に確認することは？

- ・手洗い、消毒ができているか
- ・覚醒状態はどうか
- ・正しい姿勢がとれているか など

②介助者の視線は？

- ・利用者と視線の高さを合わせる

③一口量は？

- ・ティースプーン1杯分

④二口目、三口目を口に運ぶタイミングは？

- ・のどの動きを観察して、しっかり嚥下（ゴックン）を行ってから

2)

その人の状態やその時の体調により異なりますが、30～90度がよいと言われている。

3) 認知症の入浴介助をする際の留意点を挙げてください。

①浴室や脱衣所の室温は？

- ・25℃前後になるように調節する。  
特に浴室、脱衣所、居室、廊下の温度差がないように気を配る。

②入浴前にはバイタルサインのチェックと？

- ・表情や会話の様子が、いつもと比べてどうなのかを観察する。  
また脱衣の際に皮膚の状態も必ずチェックする。

③利用者にシャワーをかける際の注意点は？

- ・心臓への負担を和らげるため、足先や指先など心臓から遠い場所からシャワーをかける。

④浴槽につかる際に特に事故の可能性が高いのは？

- ・浴槽に入る際の転倒と入浴中の転落（すり落ち）に特に気をつける。

⑤入浴後の脱水防止のために？

- ・水分補給を欠かさないようにする。

4) 認知症の入浴介助をする際の留意点を挙げてください。

①トイレ誘導の声掛けの際に気をつける点は？

- ・本人がトイレに行きたそうなサインを察知して適切なタイミングで声かけをす

ることが重要。

排泄日誌をつけて本人の排泄パターンを把握するのもよい。

- 尊厳とプライバシーに配慮した声かけにをする。  
「トイレ行く?」「おしっこしたいの?」などの声かけは不適切である。
- 「トイレに行きたいので一緒に行ってくださいませんか?」などの声かけも有効。

#### ②安全なトイレ環境とは?

- そこがトイレだと理解できるようにわかりやすく表示する。  
「便所」「厠」「せっちん」などの表記の方が馴染み深い場合もある。
- 手すりの位置が、人間工学に基づいているかどうか事前にチェックする。
- 特に夜間など転倒の危険があるので、十分な明るさが必要である。  
床が濡れていることもあるので注意する。

#### ③何をどこまでサポートすれば?

- 本人の身体、精神状態を確認しながら、自立支援の観点に立ち、できないことのみをサポートする。  
ただし、転倒には十分に注意する必要がある。

#### ④失禁してしまったときはどのように声をかければ?

- 本人の自尊心に十分配慮する。
- 失禁したことを話題にするのではなく、「気分悪くないですか?」「お腹痛くないですか?」など、体調のことを話題にするとよい。